

能勢高校ニュースレター 2013春号



能勢の里山にも確かな春の訪れを感じる季節となりました。
能勢高校では、多くの皆さんに教育活動や能勢高生の活躍ぶりを知っていただくため、学期ごとに「能勢高校ニュースレター特集号」を発行しています。今回の春号では、3学期の活動を中心に構成いたしました。ぜひご覧ください。ホームページでも情報を発信しています。



第7回目となるマレーシアの高校との学校交流

生徒たちにグローバル人材としての素養を育むことを目的に、1月28日（月）～2月1日（金）の4泊5日の日程で、第7回目となるマレーシアへの修学旅行を実施しました。毎年、クアラルンプール郊外にあるアスンタ高校との交流会を行うこととし、2年次生たちは、約1年前からパートナーを決め、お互いがメールを交換するなど、事前学習と交流を深めていきました。

1月30日（水）の当日は、バスでホテルを出発、8：30にアスンタ高校に到着し、民族舞踊や吹奏楽での歓迎（写真）に始まり、交流会では、生徒代表、両校の校長からの挨拶、プレゼンによる学校紹介、アスンタ高校からは、中国系の伝統的な結婚式（写真）、マレー系、インド系、中国系のダンス、本校からは合唱（写真）、空手道の演武、ダンスに加え、能勢の伝統文化である人形浄瑠璃（写真）などを披露しました。マレー料理の昼食（写真）を済ませた後は、パートナーの案内でクアラルンプール市内を散策しました。その後、夕食会を兼ねた交流会（写真）では、お互いの心が完全に打ち解け、歌にダンス、ワークショップなど、最高潮に達しました。まる一日かけた交流の終わりには、多くの生徒が涙を流し、別れを惜しんでいました。また、来年6月には、アスンタ高校生たちが本校を訪れてくれることになりました。

この修学旅行では、他にもFRIM森林研究所でのジャングルトレッキング、イスラム教寺院・ヒンドゥー教寺院・仏教寺院、そして世界遺産都市マラッカの見学を行うなど、マレーシアの自然と文化にしっかりと触れることができました。生徒たちは一年間かけて学び、そして準備してきた内容をしっかりと確認し、多くの感動を心に留めて帰国しました。





キャリア教育講座 ～プロは語る～

12月13日 シドニーパラリンピック車椅子バスケットボール全日本チーム総監督を務められた高橋明さんを招き、講演会を行いました。高橋さんは、現在NPO法人アダプテッドスポーツ・サポートセンター理事長をなさっています。講演を通じて身体障がい者の立場から発想する大切さや、残された機能を最大限に生かして活躍するアスリートの素晴らしさを訴えられました。



1月10日(木) 卓球女子全日本チームの村上恭和監督を招き講演会を行いました。村上監督は2012年のロンドンオリンピックで福原愛選手らを率い、男女を通じて日本卓球初のオリンピックメダルとなる銀メダルを日本にもたらしました。次のリオデジャネイロオリンピックを見据え、女子日本代表監督の続投も決まっておりますとのことです。

今回は、DVDで女子日本チームの活躍ぶりを振り返った後に、「メダル獲得の要因～戦略なくして勝利はなし～」という演題で約1時間の講演をしていただきました。「人生は、自分自身の考え方次第。人間万事塞翁が馬。高校生諸君、前向きな気持ちで頑張ってください。」とのメッセージを直接語りかけていただいたことで、生徒、教員ともども元気をいただいた講演会となりました。



「人気産業活用人材育成事業」成果発表会で発表

12月17日(月) エル・おおさか 南ホールで「人気産業活用人材育成事業」成果発表会が開催され、2年次以降、「人間・環境系列」を選択することになっている1年次生の4名が参加しました。この4名は、「産業社会と人間」での関西福祉科学大学との交流や三恵園での体験をもとに、「社会福祉の実践からコミュニケーションを学ぶ～産業社会と人間での取組～」をテーマで発表しました。生徒たちには、今後の福祉に係る学習に向けての大きな励みになりました。また本校の教育成果をしっかりと発信することできた有意義な発表会となりました。



第7回大阪府総合学科高等学校研究発表会で発表

平成24年12月22日(土) 第7回大阪府総合学科高等学校研究発表会が府立今宮高校で開催され、ユネスコクラブと農業クラブの1年次生6名が参加しました。展示発表では、パネルやポスター等を展示し、ESD活動を報告し、ステージ発表では、ユネスコスクール世界フォーラム準備セミナーでの取組や「米(Rice)プロジェクト」について発表しました。

自らがプレゼンテーションを制作し大勢の聴衆の前で発表したことは、生徒たちにとって、とても貴重な体験になりました。





さようなら ディル ありがとう

昨年4月から本校で過ごしたディルが2月初めにスリランカに帰国しました。帰国直前の1月12日(土)に府立北野高校で行われた、「高校留学生日本語による体験発表会」に出場し、府立高校に通う13名の留学生によるレベルの高い発表の中、日本語ボランティアの方々の熱心な指導の成果もあり、みごとに優秀賞3名の1人に選ばれました。また、ディルは、2年次生のマレーシア修学旅行にも参加し、現地のアスタ高校との交流では、能勢高校で経験を積んだ「空手」の演武を披露したり、生徒代表挨拶等の通訳をしたりして、大活躍でした。



彼女が能勢高校で過ごしてくれたことは、私たち能勢高校生徒、教員にとっても、異文化に触れ、理解し、交流を重ねる事のできる貴重な日々でありました。



大阪府人権作文コンクールで最優秀賞と優秀賞を受賞

総数4055作品の応募があった人権に関する作文のコンクールで、最優秀賞6作品、優秀賞40作品のうち、本校3年生の大藪未来さんの「自らの経験から学んだこと、伝えたいこと」が最優秀賞に、加堂汐梨さんの「私を支えてくれた人々」が優秀賞に輝きました。

大藪さんと加堂さんは、2月2日大阪府教育センターで開催された第9回人権文化発表交流会で表彰を受けました。また、大藪さんは作文の朗読を行い、多くの人々に感動を与えてくれました。



がんばっているクラブの紹介 シリーズ2 野球・テニス



福田先生の指導のもと、休日には練習試合や合同練習を積極的に行うなど、練習に励んでいます。昨年より部員不足による合同チームが認められるようになり、現在は春の公式戦に向け、池田北高校と合同チームを組み、勝利に向け準備を進めています。厳しさの中にも礼儀と一人ひとりを大切にするクラブで、「校内や地域の方々から応援してもらえるクラブなる！」をモットーに、クラブ活動以外の面でも頑張っています。野球に興味のある人はぜひとも入部してください。



現在、1年生男子5名です。週2日、豊能テニスクラブの2名の方に指導に来てもらい、試合で勝つためのテニスをマスターできるよう、日々、練習に励んでいます。1年生ながら他校に練習試合に出向き、公式戦にも出場しています。「大阪高校秋季大会」では、3回戦にも進出しました。男女問わず、部員を募集しています。



第59回 卒業証書授与式

3月1日(金) 多くの来賓の方々と保護者の皆さまをお迎えして、第59回卒業証書授与式を厳粛な雰囲気の中で行うことができました。卒業の言葉では、代表の3名が高校時代の思い出と先生方への感謝の気持ちを自分たちの言葉で伝えてくれました。止まらない涙は、きっと素直な気持ちの表れだったのでしょ。能勢高校の教育の成果を確かめることのできた、本当に感動いっぱいの卒業式となりました。



平成25年3月卒業生(59期生)の進路状況

本校では、入学から卒業までを見通した計画的な「キャリア教育」を通じ、地域や社会で活躍できる力である「社会人基礎力」の育成に力を注ぎ、小規模校のメリットを最大限に活かして一人ひとりに対するきめ細かい進路指導を行うことにより、卒業時の進路未決定者ほぼゼロを実現しています。

速報として、この3月に卒業した59期生62名の進路の状況と主な進路先をお伝えします。

<u>4年制大学</u> 31%	(公立) 鳥取環境、(私立) 関西、近畿、追手門、摂南、京都学園、宝塚医療など
<u>短期大学</u> 8%	(私立) 龍谷、大阪青山など
<u>専門学校</u> 37%	(私立) 平成リハビリテーション、大阪医療看護、修成建設、大阪観光など
<u>就職</u> 24%	ローゼン製菓、能勢電鉄、廣濟堂、マリンフードなど



「がんばれ能勢高生」 ～先輩からのエール～



陸上部の私は、自宅から5キロ走って通い、放課後は学校周辺のあぜ道を十数キロ、やっと競歩の近畿大会に。卒業して、近畿大学の夜間部に通いながら、府庁の陸上部に。昼は仕事、夜は勉強と練習。陸上で近畿と大阪選手権で優勝。大学では二部雄弁会に入り、全国優勝二度。何事にも目標と意欲、情熱をもってやってきました。

今思い起こしても、中学・高校のときに自由に活動をやらせて、育てる能勢の校風が今の自分の基礎を作ってくれたと確信しています。がんばれ能勢中高生。

昭和48年卒 第19期生

一般財団法人大阪陸上競技協会常務理事(大阪府ものづくり支援課長) 讃岐富男さん

私は5歳から空手をしていることもあって、高校でも空手を続けることができ、さらに将来の事を考えて勉強も集中して出来る能勢高校に進学しました。空手道部では、日々厳しい稽古の連続で、授業では自分の進路に合った少人数制で密度の濃い授業を毎日展開して頂きました。

その結果、一般入試で京都産業大学に進学し空手道部に入り、4回生の時には全日本大学選手権2位になりました。

現在は整骨院に勤務しながら柔道整復師の勉強をしています。将来開業し笑顔と元気を与えることをめざして頑張れるのも充実した3年間を能勢高校で過ごすことが出来たからです。

皆さん、充実した日々を送れていますか。 平成19年卒 第53期生 小北悠司さん

